



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	平成16年度北海道地区国立大学法人等技術職員アンケート集計結果
Citation	北海道大学大学院農学研究科技術部研究・技術報告, 12, 17-25
Issue Date	2005-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35479
Type	departmental bulletin paper
File Information	12_p17-25.pdf

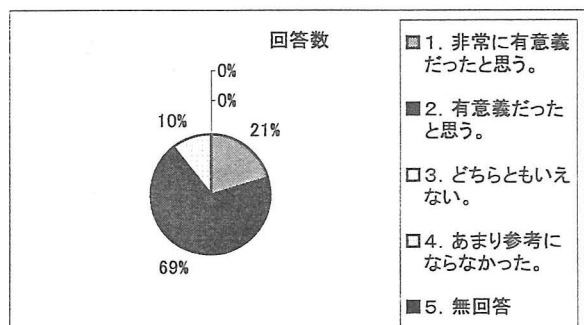


平成16年度北海道地区国立大学法人等技術職員研修アンケート集計結果

受講者数	60
回収枚数	58
回収率	96.7%

1. この研修を受講して、総体的にどのような感想を持ちましたか。

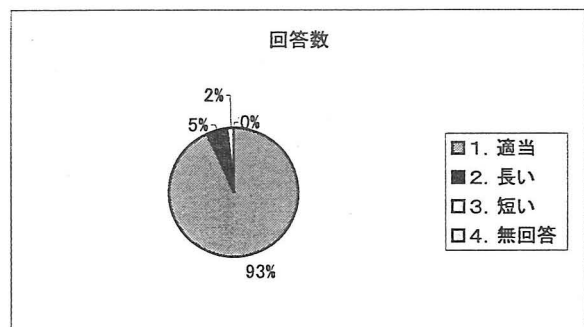
	回答数	率
1. 非常に有意義だったと思う。	12	20.7%
2. 有意義だったと思う。	40	69.0%
3. どちらともいえない。	6	10.3%
4. あまり参考にならなかった。	0	0.0%
5. 無回答	0	0.0%
計	58	100.0%



2. 運営について

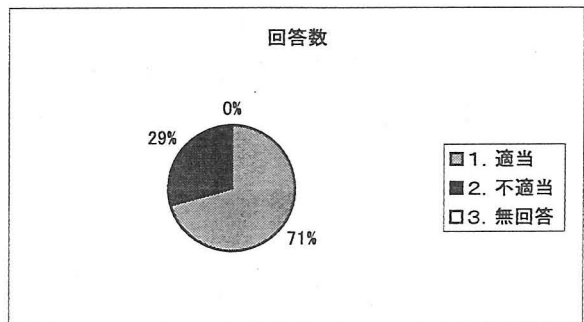
(1) 研修期間について

	回答数	率
1. 適当	54	93.1%
2. 長い	3	5.2%
3. 短い	1	1.7%
4. 無回答	0	0.0%
計	58	100.0%



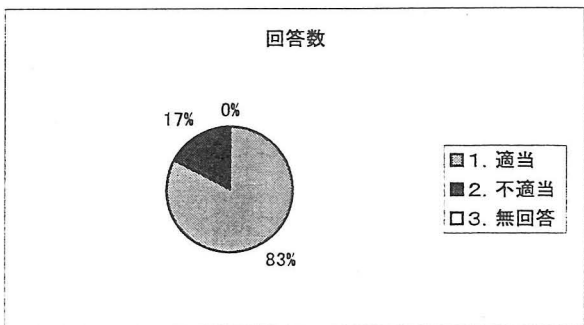
(2) 研修時期について

	回答数	率
1. 適当	41	70.7%
2. 不適當	17	29.3%
3. 無回答	0	0.0%
計	58	100.0%



(3) 会場について

	回答数	率
1. 適当	48	82.8%
2. 不適當	10	17.2%
3. 無回答	0	0.0%
計	58	100.0%



1. この研修を受講して、総体的にどのような感想を持ちましたか。(評価の理由)

○非常に有意義だった

- ・異種の技術者が集まりコミュニケーションを図れる。(5件)
- ・異業種の話を知ることができ大変刺激を受けた。
- ・他大学・学部・技術職員と交流ができ講義、講習、見学等も充実していた。
- ・異なる分野の技術職員の仕事を紹介あるいは見学させてもらったこと。北大における最先端の研究を当事者から講演してもらい、施設も見学出来たこと。
- ・普段知ることが出来ない内容を聞くことができたのでよかった。(3件)
- ・是非次回も参加したい。大学、学部、分野を超えた交流は貴重な機会なので、毎年開催してほしい。
- ・全ての講義を通して技官の仕事の多様性が理解できた。
- ・日々の通常勤務の中に変化があり楽しく刺激となる。
- ・法人化へ移行した現在、技術部が安全管理面で役割を担う必要があり時勢にあった内容であった。
- ・労働安全衛生の講義は今一番私たちの現場で必要としていることを学べ職場に帰っても役立てることができる。
- ・最先端のCOE研究を習い創成科学研究機構を見学できた。
- ・施設を見学出来たり、救命講習の体験ができたり楽しい。
- ・北大で今何を取組んでいるかがきけた。私の大学にはないより取組が聞けた
- ・専門性をはずして、一般教養的講義・講習であったので大変よかった。

○有意義だった

- ・若手同士の交流等がはかれてよかった。
- ・様々な分野を担当する方々の講義や話を伺うことができ刺激をうけることができた。
- ・技術職員の交流という意味で、また全学の技術職員同士の情報共有という意味で重要だったと思う。
- ・自分の専門分野以外の話も聞けこれから仕事をするうえで取り入れられそうな部分があった。
- ・日常の閉鎖的空間から外に出て異分野の方々と接触する中で大変刺激になりました。
- ・適当なプログラム内容だと思う。
- ・救命講習は有意義だった。
- ・法人化となり非常にタイムリーな話題が多かったので、勉強になった。
- ・広い範囲の知識を得ることができたが、専門の知識をもっと深く勉強したい。
- ・他分野の方と交流できてよかったとおもう。(5件)
- ・普段の仕事をしていると自分の業種しか知らないもので、こういう研修でいろんな職

種があることがわかった。

- ・ 普段は他の技術職員との交流が少ないので、様々な意見を聞くことができてよかった。(2件)
- ・ 普段は全く知り得ないことにふれることができた。
- ・ 救命・救急講習等，安全衛生に関する内容が含まれたこと。
- ・ 安全面の話が多かった。
- ・ COEとは何か少しわかった点
- ・ 色々な場所を見学できたので有意義だと思います。
- ・ 関係者の努力に対しお礼申し上げます。それぞれに重要な内容を含んだ内容の講演で有意義な研修でした。
- ・ 幅広い講習内容だった。
- ・ 今後，必要になると思われる研修内容だった。
- ・ 専門外のことがわかって良かった。
- ・ 教養の向上が望める内容でした。
- ・ 有意義だったと思う場面は大いにあったが，必要ではないと思うところもあった。
- ・ 運営，内容に無理有り
- ・ 3級以下の者が受けることができる研修がなかったので，今回出席できてよかった。

○どちらともいえない

- ・ 有意義なものも無意味なものもあった。(2件)
- ・ 分野が違いすぎてほとんど業務上には役に立たない。
- ・ 現時点ではこれからの技術向上に結びつくかどうかわからないが，今後何らかの役に立つかもしれないので

○あまり参考にならなかった…回答無し

2. 運営について

(1) 研修期間

- ・ 2日間 (3件)
- ・ 5日間

(2) 研修時期

- ・ 2月
- ・ 3月
- ・ 4月

- ・ 7 月
- ・ 8 月（3 件）
- ・ 9 月（4 件）
- ・ 10 月（3 件）
- ・ 上半期

（3）会場

- ・ もう少し広い会場を希望（2 件）
- ・ 学術交流会館（2 件）
- ・ 分煙をもっと行ってほしい

3. その他

- （1）この研修についての感想，意見，希望，特に印象に残った講義等を自由に記入してください。

<国立大学の法人化後の現状について>

- ・ 法人化の説明がわかりやすくよかった。
- ・ 法人化移行時の舞台裏の話も生々しく拝聴できました。
- ・ 大変興味深かった。
- ・ 終わってしまった事とはいえ，国立大学法人化に携わった人より具体的な話を聞け，普段は遠いと思われる中央政界を身近に感じることができた。話の内容は興味深かったですし，今後は大学の可能性まで，ふれられていたので参考になりました。
- ・ 今後のことを考えると特に参考になった。
- ・ 文科省の方の話を直接きくことができたのも貴重だったと思う。
- ・ 文科省の庶務係長の話は適切ではなかった。例えば総長が「これからの展望」などのタイトルで話をされた方がよいのではないか
- ・ 今更という感じで，法人化前なら有意義だったと思う。

<労働安全衛生法及び労働安全衛生規則>

- ・ 法人化になって直面する非常に重要な問題を含んでいるので，勉強になった。
- ・ 身近な労働の場における安全衛生についての講演も有意義でした。
- ・ 非常に有意義であった。（3 件）
- ・ 日頃の現場での危機管理に役立てたいとおもった。ためになった。
- ・ 安全管理については，この先考えていかなければならないと思っておりましたので，

良い内容の講義でありました。

- ・今後のことを考えると特に参考になった。
- ・以前に聞いたことがあるので、全くの無駄だった。
- ・一般的な法令の条文の解説が多くて、あまり有用な話とはおもえなかった。もっと大学における問題点等についての話が多い方が有益だったと思う。

<講演・COE研究の紹介>

- ・西村先生の講演がよかった。
- ・西村教授の講演が一番わかりやすく、もう少し詳しく聞きたいと思いました。
- ・西村教授の講演が印象的で、スケールの大きさを感じました。
- ・西村教授の講演が展望等、多角的な面が多くおもしろかった。
- ・西村教授の話が非常に興味深く、最先端の研究をわかりやすく解説していただいたので、COEに指定されて予算を獲得していることがよく納得できた。
- ・「COE」とはどんなことなのか、創成科学研究機構はどのようなものなのかについておおまかではあるが知ることができた。
- ・COEに関する知識が得られた。また北大としての役割の意義を学べよかった。
- ・COE研究の紹介は参考になる部分もあったが、技術職員のみが集まっている場においては技術職員の日常の業務紹介に重点を置いた方がよかったと思う。
- ・話はおもしろいが、新聞、HP等で入手できる情報なので、特段研修にいれる必要はない。

<災害における応急処置と救命講習>

- ・応急処置の体験ができたことは大変有意義だった。(2件)
- ・実用的な講習はおもしろい。
- ・数多くの大学主催の研修会を受講しましたが、違うところの修了証(消防署)をもらったのははじめてですがよかったとおもいます。
- ・救命講習は常に行っていないと忘れるので、毎年行っても良いと思います。
- ・大変重要で他の教職員も受講したい方がいると思うので全学的に多くの人が受講できるようにしてほしい。
- ・もう少し班をわけて人数を減らし細かな指導を受けられるとよかった。
- ・救命講習では場所が狭すぎ、また講師の先生、人形が少ないと感じた。これで修了では不安が残る。

<施設見学>

- ・北大では新しい棟がたくさんできているが、見学する機会はあまりないので、今回のポストゲノムや創成は見学できてよかった。難しく理解出来ない点もあったが最先端の講義を聞いているという充実感がありました。
- ・北大にいながらあのような施設があることを知らなかったのも、とてもよかった。もっとゆっくり見学したかった。班によって見学したところに多少の違いがあったようだ。
- ・アンケートで候補があればなるべくいけるようにしてほしい。
- ・北大以外の施設見学もあると良かったです。
- ・総合博物館の見学時間が少なくよくみれませんでした。(2件)
- ・総合博物館だけに半日くらいの時間をとり、休憩時間もいれてゆっくりと見学したい。

<先輩講話>

- ・メインとなるべきもののなのに中途半端だった。
- ・先輩講話のような技術紹介の時間をもう少し増やしてほしい。
- ・マウス動画が生々しすぎた

<ポスターセッション>

- ・ポスターセッションの時間が短い(4件)
- ・時間が短かったので、最初の3分間のスピーチは無くても良いような気がした。
- ・3分で発表できるはずはありません。計画に無理があり、単に部屋に押し込められている感じがする。もっと自由に討論したい。
- ・説明時間が少ないために、早口になりよく聞き取ることができなかった。(少なくとも5分は必要か)
- ・発表時間を7~10分くらいにしたほうがわかりやすく質問をしやすい。
- ・他のプログラムの関係で時間がとれないのであれば、演題数を減らすべき。
- ・メインとなるべきもののなのに中途半端だった。
- ・発表要領の説明がわかりにくい
- ・ポスターの貼り付け場所にも不満あり
- ・貼りだし時期があいまいだった為大半が最終日に貼付された。これではゆっくりみてディスカッションできない。
- ・ポスターのサイズであるがJIS規格等に準じて頂ければと思います。
- ・ポスターの展示間隔と展示時間を増やしてほしい。

<技術紹介>

- ・それぞれの自己紹介や職場紹介等が他学部や他大学の様々な情報が聞くことができ、非常に良かった。
- ・自己紹介では詳しく説明が聞けてよかった。
- ・技術紹介は最初にやるべき。少なくとも懇親会よりは前にすべき
- ・技術紹介は研修の初日に行った方がより交流ができると思います。
- ・自己紹介は早いうちに行われた方が交流をする上でもよいかと感じました。(2件)
- ・自分の仕事紹介は良かった。
- ・班分けの技術紹介は大変よかった。他班の話を聞けなかったのは残念であるが、それは仕方がない。
- ・わるくはないが、これだけは年齢別の班構成にしたほうがよかったと思う。
- ・受講者全員の技術紹介は事前に資料として配付すればいいと思う。

<その他>

- ・他学部、他講座の技術職員と知り合いになれたことは大変よかったとおもう。(2件)
- ・他大学、学部の研究、業務内容を学び、自分の向上心にもつながった。
- ・交流の場としては良かったと思うが、専門性を考えると分科会にする等より密な討論ができるようにした方が良いのではないか。その分、専門に関する実習など取り入れる事も可能と思われる。そのような内容であれば、研修期間は長くても構わないと思う。
- ・異分野の話が聞ける有意な機会。全体的には満足。
- ・これまではコース別で行ってきて、これはこれでためになったが、今回はこれまでに話を聞く機会のない方と知り合うことができた。
- ・多種多様な技術職員の業務内容を知ることができて良かったが、専門用語を理解するのに難解な面があった。
- ・それぞれのプロフェッショナルとして活躍されている姿を拝見し、己の未熟さを恥じるとともに、これから研鑽を積もうという動機付けになったと思います。
- ・多種多様な技術職員の業務内容を知り、常時雇用してまでやるような仕事ではなく外注した方がよいと思われる業務があった。(深く理解すれば変わるかもしれませんが)
- ・プレゼンがうまい方がたいくつなくてよい。
- ・工作、情報などは班にわかれて、専門技術をもっと時間をかけて勉強した方が好ましい。
- ・工作を主な業務とする人はあまり情報系の知識は必要ないと思う。
- ・本年度は法人化へ移行という点で、専門分野に関わらない参加形態で有意義な内容であったが、今後は、これまでの様に専門分野（おおくり）の研修も設定して頂

きたい。

- ・この研修以外に、より専門的な内容の研修を行い、技術水準の向上と均一化を図る必要があると思う。
- ・若手職員にまで対象を広げたことはよいと思う。
- ・今後の技術職員のあり方について全学部が集まれるこの機会に40代や50代前半のこれから支えていく世代を中心に技術職員研修を開催していくほうが良いのではないかなと思う。
- ・北大のキャンパスに限らず、道内の各大学の附属施設での研修もよいと思います。
- ・終了する時間が少し中途半端な気がしました。
- ・世話人の名前と顔が初めから知りたかった。
- ・懇親会の時間は2時間くらいが適当だとも思います。
- ・スケジュールの組み方がおかしい（ポスターセッションが1時間たらずはどうか？先輩講話長すぎ）
- ・結局は独りよがりの感アリアリ。
- ・講演、実習、見学のどれもが何らかの形で仕事に関わってくるものが多かったと思う。
- ・施設見学やポスター発表など、他の施設の技術を知る機会をもてたのでよかった。
- ・大学や高专に求められている地域連携、民間との連携を実感することができた。大学内においても横のつながりを密にし内部評価もしっかり行う体制があるところに感心した。
- ・COEの説明とそれに関する施設見学があったので、より具体的に理解と実感がわいた。
- ・地方からくる人間にとって問題となるのは旅費の問題です。出張の移動期間を含めて3日で終わることができたならば経費も節約できるのではないだろうか（今回は移動等を含め4日で申請しました）

(2) この研修で開講したら良いと思う講義等または今後受講してみたいと思う講義等を記入してください。

- ・分野別で行ってほしい。
- ・専門的な講義を増やしてほしい（全体で学ぶ部分と専門で学ぶ部分を分ける。）
- ・金属工作，ガラス工作，情報技術，電気技術，木工工作などわけて自分の専門を選んで受講できるシステムが好ましい。
- ・機械，電気・電子，情報等のコース別に分けて，基礎的な技術の講義，実習があれば受講してみたいとも思います。
- ・生物系，工学系等コースにわかれて，実習のようなものを受けることはできないだろうか
- ・専門性の高い研修は様々な業務内容があり困難だと思うので，民間の技術者を参考に基礎知識等を中心にしてもよいと思います。例えば，プレゼン，ワジカルシンキ

ング、ディベート、テクニカルライティング等 経営工学や工業簿記、工業英語も役立つと思います。

- ・今回から分野別でない研修となったが、共通した内容での実習は困難があると思われる。講師の話聞くのもよいが、現在あるそれぞれの立場での未解決問題等を班討論するなどの講義を立案してもらいたい。例えば対学生であったり、対先生であったり、対事務等の問題。
- ・技術職員が現在抱えている問題の解決、各職場から何ヶ月前からのテーマの募集をはかり専門員等会議でテーマを決めてほしい。
- ・安全管理に関する講義はまた受講したい。
- ・安全特別教育などが受けれるとさらに良いと思う。例：研削砥石など
- ・救命講習のように修了書がもらえるもの。
- ・大学が今後どのような方向性を持って（独自性）、進んでいくのか、そのために何が望まれているのかをもう少し詳しく説明する時間を設けた方が良いと思う。それに関する研究の講義を取り入れたら良いと思う。
- ・文科省の講義、外国や他大学の職員制度に詳しい人の話、事務局の方の話。
- ・座学の講演ばかりではかなり苦痛なので、今回の研修と同じように見学や講習が半分くらいであると良いと思う。
- ・北大外の工場や施設見学をしたい。
- ・外部の会社の工場見学
- ・介護実習を行いたい。
- ・語学研修
- ・今回は大満足です。
- ・このような技術研修が多く開かれることを希望します。
- ・今回のように多岐にわたるものを希望します。